

毎日が障害物競走。

深夜1時に起きる。

豆腐を作って4時に新聞配達へ出かける。

ほとんどが細い山道だ。落石があれば自分でどける。

伸びた木や竹が道を塞いでいれば、

車に常備しているハサミやノコギリで道を切り開く。

どうしても車が通れない場所は、歩いて新聞を届ける。

川の氾濫が何度かあった。走れる道から新聞を配った。

どの道がよく冠水するかは生まれ育った町だから知っている。

配達は昼までかかったが、こんな時にありがとうと感謝された。

新聞の配達を終えて家に帰ると

豆腐の配達をする。

趣味で作っている豆腐は道の駅や近所で評判だ。

家に帰ると猫の散歩をして、日が暮れるまで農作業をする。

「配達毎日しとると健康でええよ。人の悪口も言わんでいいけえ」

と、猫を抱えながら光岡さんは語った。

新聞を配ることは、気を配ること。